

攻めようぜ東京を



分権化への動きとあいまって、21世紀には、成功する自治体と沈滞化する自治体の二極分化が加速されるといわれております。

成功する自治体になるためには、地域の活力が満ちていなければなりません。地域の活力はいろいろな要素で構成されていますが、そのなかでも起爆剤として活路がありそうな観光産業をテーマに、宿泊客の増大作战にスポットを

あてた戦略を考えてみたい。

宿泊客のマーケットエリアは、到達時間4時間が目安とされている。残念ながら到達時間4時間には少し届かないが、KTRの電化とJR西日本の特急電車の誘致により、京都発のすべての特急電車がのぞみと接続され、最短4時間4分で東京と天橋立が結ばれるようになった。マーケットエリアの拡大率はおそらく2倍を超えるのではないだろうか。

そこで、増大作战のターゲットを東京の人としよう。東京の人は、情報には敏感で何でも知りたがる。東京の人は、新しもの好きで一番を狙いたがる。この性格を満たすのは徹底した情報提供しかない。

では、徹底した情報とはどんなものか。

- 「宮津駅」「天橋立駅」の着時刻別の具体的な周遊コースの情報
- 観光素材、ナイトスポット、グルメ、催事、スポーツ
 などジャンル別詳細情報（いずれも、私の価値観に基づくものです）
- 宿泊施設の部屋、料金、風呂、その他館内施設の詳細情報
 （いずれも、私の価値観に基づくものです）

最後に、情報発信アイテムは何がいいのか。

- これらを簡単に検索できる機器を、旅行情報を求める東京人が最も多く集まる場所に設置
- そのことを東京で最も発行部数の多い情報紙の一番広告料が高いページを買い取って告知

さて、費用対効果は、後日激論を交わしましょう。
 賛成派、反対派の発表者を求めます。

激論 攻めようぜ東京を。

9月2日(木) 19:30~
 宮津商工会議所/大会議室にて

